

学 而 思

図書館だより 第6号

「学而思」を現実化する場 — ラーニングコモンズ —

倉敷芸術科学大学 副学長
許 南浩

この図書館だよりは「学而思」と言います。

ご承知かと思いますが、これは論語の「学而不思則罔、思而不学則殆 学びて思わざれば則ち罔（くら）し 思いて学ばざれば則ち殆（あやう）し」からとったものです。

短い文ですが、対句になっていて姿が美しい。A and NOT B = C、B and NOT A = D という構造です。而は and、則は = を意味します。

キーになる漢字は、学 (A)、思 (B)、罔 (C)、殆 (D) ですね。それではさっそく図書館に行って漢和辞典を引いてみましょう。

漢和辞典にもいろいろありますが、どうせ図書館に行くなら最も大部な漢和辞典である諸橋轍次著『大漢和辞典』（大修館書店）といきたいところですが、なにしろ 10 巻以上あって、調べたい漢字の載っている巻数とページを確認するためだけで 1 巻を費やすというまことにとっつきにくい代物です。ここは妥協して、1 巻本ではるかに手軽ながら情報の確かさは高度という白川静著『字通』（平凡社）にして、確認のため、藤堂明保編『学研 漢和大字典』（学習研究社）で補完したものが以下です。

学 (A) は、知る、知識を授かる、という意味です。

思 (B) は、本来の字は脳蓋の象形文字に由来しており、いろいろ思い巡らす、深く考える、という意味です。

罔 (C) は、網をかぶせたようにものが見えないところから、ものが分からない、無知で道理が分からない、という意味です。

殆 (D) は、あやうくてすぐに破綻する、危害にちかづく、という意味です。

つまり、教わるだけで自分の頭であれこれ考える

ということをしないと、ものごとは分からない、つまり理解したことにはなりませんよ、逆に、自分で考えるだけで人から教わらないと、その知識はあやうくて怪しいですよ、という意味になります。

A and NOT B = C、B and NOT A = D という論理式で、C も D もダメ、従って言いたいことは A and B でなくてはということです。それを漢字に戻すと、「学而思」になるでしょう。

私がなぜ長々とこのようなことを言っているのかというと、日本の教育は長い間、学 (A) が中心で思 (B) が軽んじられてきた、今こそ「学而思」に立ち戻らなければならない、ということを言いたいためです。アクティブ・ラーニングとは、自分の頭でよく考えることに他なりません。思 (B) そのものなのです。

それを支援する目的で、この度、学内 4ヶ所、図書館入り口左手、25号館、学生食堂の入り口左手、2号館 2階に、ラーニングコモンズを設けました。いろいろ調べ物をしながら一人で考え、あるいはグループで勉強したり、議論したりするスペースです。積極的に活用して、思 (B) のちからをつけるよう、心から願っています。

上記の漢和辞典で学を調べていたら、「惟（こ）れおしふる（旧い漢字で表示不可、教えるの意）は学ぶことの半（なか）ばなり」とあって、紀元前から教えることと学ぶことは重なり合うものだということが言われていたことを知り、改めて昔の人の知恵の深さに感銘を受けました。

皆さん、自分の理解度を高めるために、友人に教えてあげましょう。友人の試験点数を 10 点上げてあげれば、知らないうちに自分の理解度が 20 点分深まりますよ！！

新たな学習空間がOPENしました！

ラーニング commons (25号館)

24時間、利用できる

自由で開かれた学習空間です。

図書館ではできない会話しながらのグループ学習やプレゼン発表の練習など使い方は自由。

しかも、図書館に近いので議論して出てきた疑問も図書館資料※1を確認すれば即時に解消！

- 予約なしでご利用いただけます。(※2)
- 50席、可動式の机や、ホワイトボード、大型モニターも備えてあり、快適な環境で自由に活動できます。
- 自動販売機もあり、飲食しながらの利用も可能です。

※1 図書館からの資料の持ち込みは開館時間内の貸出手続きが必要です。

※2 イベントや授業等で使えない場合もあります。



図書館ラウンジ

図書館内で水分補給が可能になりました。

かねてから要望のあった水分補給のエリアを新たに設置しました。

図書館内に長時間滞在する際の水分補給にご利用ください。

カフェのようなソファとテーブルでひと時を。

- ペットボトルや水筒等のフタ付きの飲料ならOK！
- 静かなエリアになっていますので会話は小声で。
- おすすめ雑誌の最新号コーナー、コミックコーナーもあります。



論文・資料の探し方②

図書館だより「学而思」第4号掲載の「図書館 HP を活用しよう！」に続く第2回

資料・論文を読む

★図書館に所蔵がある資料はコピーを取ることが可能です。

※著作権法によりコピー可能範囲に制限があるのでご注意ください。

★Web 上で閲覧できる論文などは、申し込んでいただければ印刷してお渡しできます。
(モノクロのみ)

※カウンターで「文献複写（プリント出力）申込書」にご記入下さい。



その1. 関連学園(岡山理科大・千葉科学大)から本を借りる(無料)

本学図書館だけではなく、関連学園2校の所蔵も調べてみましょう。
各大学図書館への所蔵検索は、本学図書館 HP の OPAC 画面上部にタブがあります。
関連学園で所蔵している本なら無料で取り寄せることができます。
カウンターで手続きをしてください。

※雑誌や研究室備付資料、禁帯出資料はお取り寄せできません。

その2. 相互貸借(ILL: Inter Library Loan)の利用(有料)

関連学園以外の大学からも文献複写依頼(文献のコピーを依頼する)や、現物貸借(図書を取り寄せる)ができます。ただし、コピー料金・送料は申込者の負担となります。

その3. レファレンス・サービス

図書館では、皆さんが学習・調査・研究をするうえで必要な学術情報を収集するためのお手伝いをしています! 分からないこと、困っていることがあるときは、いつでも図書館スタッフに相談してください。

貸出中の場合や他校から取り寄せる場合は、
資料が手元に届くまで時間がかかります。
早めの行動を心がけましょう!



くらげーぬ



うさし

ラウンジにコミックコーナーあります！

図書館ラウンジに、コミックコーナーが新設されました。

勉強に疲れた時にはちょっと休憩。

コミックでも読んで、頭をリフレッシュしてはいかがでしょうか。

知的好奇心を刺激する、自分の将来を決める1冊に出会えるかもしれません。

蔵書コミックタイトル

Dr.コトー診療所
 この世界の片隅に
 シュガー：ぼくはネコである
 ハチミツとクローバー
 ハルカの陶
 ヒカルの碁
 ぼおるぺん古事記
 ムーミン・コミックス
 リアル
 俺、つしま
 海街 diary
 猫絵十兵衛：御伽草紙
 麦ばあの島

※今後もタイトルが増える予定です。



2019年度 9月～12月カレンダー

9月							10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

・赤文字…休館日 ・青文字…短縮開館日

倉敷芸術科学大学図書館

〒712-8505

岡山県倉敷市連島町西之浦 2640 番地

TEL. 086-440-1181 FAX. 086-440-1182

《図書館 HP》

<https://www.kusa.ac.jp/lib/>

《E-mail address》

libs@kusa.ac.jp

